

科学研究費助成事業（若手研究（S））研究進捗評価

課題番号	20675002	研究期間	平成20年度～平成24年度
研究課題名	カチオン性ロダサイクルを活性種とする高度分子変換反応の開拓	研究代表者 (所属・職)	田中 健（東京農工大学・産官学連携・知的財産センター・教授）

【平成23年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準
A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A 当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	B 当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C 当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
<p>(意見等)</p> <p>カチオン性ロダサイクルを用いて反応性と選択性の両方を調節して数多くの触媒反応の開発に成功していることに加え、不斉合成にも展開している。結果として、有用な機能発現の期待できる新規の環状化合物を提供している。また、数多くの論文や特許等が発表されており、成果の情報発信も進んでいる。計画の妥当性と研究代表者の優れた研究推進能力・研究体制構築によって研究は順調に進展しており、今後さらなる成果が期待できる。経費は効果的に使用されており、購入設備も有効利用されている。</p>	

【平成25年度 検証結果】

検証結果	研究進捗評価結果どおりの研究成果が達成された。
A	<p>平成23年度の時点で5つのカチオン性ロダサイクル活性種の発生法と反応を系統的に研究していたが、さらにカチオン性ロジウム(III) 電子不足シクロペンタジエン錯体によるC-H 結合活性化で生成する求電子的ロダサイクル活性種の発生法と反応をこの2年間で開拓した。</p> <p>また、研究進捗評価以降、国際的な学術雑誌に研究成果が数多く公表されているだけでなく、国内外の学会での招待講演も行っており、成果の公表という面でも十分されている。購入された設備は有効に活用され、研究費も効果的に使用されている。</p>